

令和7年度 グランドデザイン

道学共創の精神

ひとが第一、ひとが大事 新発田の教育

新発田市立川東中学校

教育目標

正しく 強く 心豊かに

育てたい生徒像

- 1 かかわり合って学び合い、主体的・意欲的に学習に取り組む生徒
- 2 自他のよさを認め合い、勇気をもって挑戦する生徒
- 3 心身ともに健康で「心を豊かにする活動」を日常実践できる生徒

【心を豊かにする活動4項目】～みんなの力で輝け！心豊かな川東中学校～

- 元気はつらつ挨拶・返事
- 学舎（まなびや）に感謝する清掃
- 食の恵みに感謝する給食
- 川中大好き校歌斉唱

特色ある新発田の教育

ふるさとへの愛着と誇りを育む
「しばたの心継承プロジェクト」

人権感覚を高める「人権教育、同和教育」

生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」

学校評価「知」

学校評価「徳」

学校評価「体」

- 知識・技能の確かな習得と活用
 - ・「自分の考えを理由をつけて相手に伝えることができる」と感じる生徒の割合 (75%)
 - ・週5日以上毎日家庭学習に取り組んでいる生徒の割合 (75%)
 - ・基本テストに合格する生徒の割合 (75%)

- 豊かな心の育成
 - ・生徒アンケートで「心を豊かにする活動4項目」の肯定的な回答 (80%)
 - ・生徒アンケートで「困ったとき、苦しいときに自分を守ることができる」と答える生徒 (90%)

- 健康体力の向上
 - ・体力テストで県平均以上となる種目(48種目)の割合 (65%)
 - ・体育や部活動に目標をもって取り組み、体力を向上させた生徒の割合 (80%)
 - ・アウトメディア(平日60分以内、休日120分以内)を意識して生活する生徒の割合 (70%)

- ・「学び合う授業」に向けた授業改善
- ・わかる授業を目指す川中UDL
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・基本テストによる基礎学力の定着と家庭学習の習慣化
- ・補充学習・質問教室の工夫
- ・小中連携チャレンジウィークの実施(アウトメディアを含む)
- ・学習内容の発信(発表会・たより)
- ・特別支援教育の視点に立った指導支援の充実

- ・生徒の手による「心を豊かにする活動4項目」の実施(「いじめ見逃しゼロスクール運動」を含む)
- ・生活アンケート等の実施と分析、活用
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進
- ・体験活動と関連させた「考え、議論する」道徳の授業の実施
- ・人権教育、同和教育の実施(「生きるIV」等の有効活用)

- ・体力テストを年間2回実施
- ・体力テストの目標設定と結果分析
- ・アウトメディアを含めた生活習慣の振り返り
- ・食育出前講座を活用した食育授業
- ・地域の食生活改善推進委員の協力を得た郷土料理作り(各学年)

家庭・地域との連携

- 情報発信 ○学校関係者評価委員会 ○学校保健委員会
- PTA、同窓会 自治連合会、育成協 ○校外講師の活用

地区小学校との連携

- 学力向上の取組 ○授業交流 ○体験入学 ○行事の見学会
- 引継・情報交換会

生徒の実態

- 素直で、何事にも真面目に精一杯取り組む姿
- 優しく、他者をいたわる言動をとる姿
- 思いを表現したり、力を発揮したりすることに苦手意識がある。
- 基礎学力や主体的に学習に取り組む姿勢に二極化が見られる。

家庭・地域の願い

- ◇ 夢や希望を持ち、進路実現に向けて学習に取り組んでほしい。
- ◇ 自分の思いや考えを、しっかりと伝えられる人になってほしい。
- ◇ 誰とでも仲良く、楽しい学校生活を送ってほしい。
- ◇ アウトメディア等、家庭と連携して、社会性を育ててほしい。